姫路市総合福祉通園センター「ルネス花北」成人部広報紙

かがだめ

障害者支援センター
かしのきの里
在宅障害者デイ・サービスルーム
書写障害者デイサービスセンター
広畑障害者デイサービスセンター
障害者やすらぎルーム
障害者体育館

あぼしリサイクル事業所 ぱっそ・あ・ぱっそ

№182

令和5年(2023年)8月21日発行

虫の声に秋の気配を感じますが、日中はまだまだ暑さが厳しいです。感染症対策に気を付けつ つ、暑い夏を元気に過ごしていきたいものですね。

今季号は、在宅障害者デイ・サービスルームやかしのきの里、Café ぴあの・ぴぁ~のの活動 などを掲載しています。是非、ご一読ください。

ゆうあいギャラリー



タイトル

「みんなの刺繍作品 大集合」

障害者支援センター 活動作業グループ

広く活動内容を知っていただくために、利用者の写真を多く掲載しています。 掲載写真は、ご本人の了承を得たうえで使用させていただいています。

活動報告 1

~在宅障害者デイ・サービスルームより~

在宅障害者デイ・サービスルーム 支援員 中川繭子

在宅障害者デイ・サービスルーム(以下「ルネスデイ」)では、地域生活支援事業(地域活動支援センターII型)として、障害を持っている方の地域生活を支援するため、創作的・社会適応訓練的・レクリエーション的な教室やプログラムを実施しています。令和5年7月現在の登録利用者数は30名で、年齢層も20歳から68歳の方まで幅広く利用されています。

教室は 13 教室あり、午前と午後に分かれて実施しています。皆さんなら、どの教室に興味を もたれますか?

	月	火	水	木	金
午前	音楽	ちぎり絵	パソコンC	絵画	料理 パソコンA
午後	手芸	パソコンB	スポーツ	習字	アートセラピー (第1金曜) フラワーアレンジメント (第3金曜) ほっとサロン (第2・4金曜)

ルネスデイに来られる利用者の皆さんにはそれぞれの生活スタイルがあり、教室の利用の仕方 も様々です。就労や生活介護など他のサービスとの併用利用で充実した日中活動を送っている方、 一定の年齢に達しルネスデイで趣味や余暇を謳歌している方、介護保険制度と併用しながら利用 している方もいます。また、仕事をしていたけれどちょっと疲れてしまって、しばらくは好きな ことをしながら、次の展開に向けてエネルギーを蓄えている方もいます。それぞれに講師がつく 教室型になっていますが、一辺倒にすすめていくのではなく、一人ひとりの個性や可能性を探り、 「自分らしさ」を大切にしています。そして、教室活動やプログラムを通して社会生活を支える ための個別支援にも取り組んでいます。

利用者のみなさんがつくる作品や奏でる演奏は味わい深いものばかりで、たくさんの人の目や心に留めていただけるよう、発表する機会を拡げていきたいと思っています。そして、このような機会は、個々の自信や達成感、充実感につながり、自分の居場所や生きている意味を見つけます。ここ2、3年はコロナ禍ではありましたが、音楽教室では6回にわたりミニコンサートをデイルームで開催し、「ルネスデイ作品展」では、各教室から100点近くの作品をデイルームに飾り、ご家族や関係者、支援センターの方々に見ていただくことができました。その他にもcaféあっと・ゆ~る、地域のコミュニティーセンターや銀行にも展示させていただいています。

今年度は、コロナ対策の枠組みが緩やかになるなか、アクリエひめじ大ホールにて、姫路市民生委員児童委員大会のオープニングアトラクションとして楽器演奏を依頼されました。音楽教室では、嬉しいやら、緊張するやら「ハラハラドキドキ」しながら練習を重ね、5月25日に無事演奏を終えてきました。11月には、恒例の「ルネス花北芸術祭」をイーグレひめじで再開することになり、各教室では現在、作品づくりに没頭中です。

ルネスデイで過ごす時間は、利用者のみなさんにとって、生活のなかのほんの一部分かもしれませんが、きらきら輝いていただけるように教室を盛り立てていき、あったかい安心できる居場所、心の拠り所となるような存在でありたいと思っています。

それでは、ルネスデイでの活動や作品展などの様子を紹介します。みなさんの自信あふれる活き活きとした表情や作品、活動の様子を感じとっていただければうれしいです。

アクリエひめじでの演奏

令和5年度姫路市民生委員児童委員大会がアクリエ ひめじ大ホールで行われ、音楽教室のメンバーが出演し ました。「この木なんの木」「どんなときも」「runner」 の3曲を演奏しました。みなさん、とても良い表情で、 練習の成果を披露することができました。





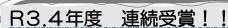


芸術祭に向けて

各教室では、今年度の芸術祭にむけて、始動しています。個人作品だけでなく、みんなで創りあげる 共同作品にも力を入れています。







肢体不自由児・者美術展にて、厚生 労働大臣賞と優秀賞をとりました。 今年も賞をねらっています!!



海



ルネスデイ作品展

昨年度のルネスデイ作品展。 素敵な作品がずらり。









まだまだ紹介したい活動や作品が盛りだくさんですが、「こんなルネスデイでありたいな!」と、 利用者や講師のみなさんと標語を考えました。この言葉を胸に、これからも歩んでいきたいです。

PRIDE and PASSION 誇りと情熱を

十人十色 すてきだよ

「ありがとう」「どういたしまして」たすけあいの架け橋に

思いやり みんながもてばハッピーに

笑顔がいちばん!!

活動報告 2

かしのきの里は、今年も姫路獨協大学作業学実習の講義をおこないました!

かしのきの里 陶芸班

かしのきの里では、平成 19 年度から毎年、姫路獨協大学の作業療法士学科 2 年生の授業に講師として参加しています。開始当初は利用者9名が交替しながら毎回 4~5 名は参加していましたが、高齢化が進み近年は参加人数が減少しています。今年は利用者の参加は2名のみとなりました。それでも大学側から学生が障害のある方に関わる意義や学生の前で利用者が実演することの意味合いを大切にしていただき、今年も継続して参加できたことは、大変うれしく思っています。





陶芸班の利用者のうちの1名は65歳です。脳性麻痺により片手の自由が利きませんが、利かない手を上手に添えて、利き手で電動ろくろを使って作品を作り始めると、学生から感嘆の声や拍手が自然と沸き上がります。このように作業をしている利用者の姿を見て、これから作業療法士を目指す若い学生たちが、何かしら感じてもらえることを願っています。

授業にはかしのきの里が長年お世話になっている陶芸家の先生も参加されており、一緒になって学生の作陶にアドバイスをしています。作陶を通して、自分の思いを表現し、想像できないような作品を作る学生もいるので、授業から逆に学ぶことも多くあります。これからも学生とのふれあいを大切に少しでも長くこの活動が続けていけるように頑張りたいと思っています。



最後に、授業に参加している学生の声を一部紹介します。

ずっとろくろが回っている のに冷静に作業できている のに驚きました。 力の使い方など見ただけで は分からない難しさがあっ た。

形が崩れかけても焦らずにしていた表情が驚き!



疾患がある方でも、指先を 作りたい作品に合わせて器 用に使えていた。

力を使わずに作っていた。 手先や頭のリハビリにもつ ながるのではと思った。

活動報告 3

書写デイ じゃらんじゃらんウィーク

書写障害者デイサービスセンター 支援員 小田 健司

今年度も感染症の影響が心配されたため、地域の方やご家族を招いての「じゃらんじゃらんまつり」の開催は見送りました。利用者に希望を伺ったところ、昨年行った「じゃらんじゃらんウィークをしたい」という意見が多くあり、今年も6月20・21・23日の午後に実施することとなりました。

5月上旬に利用者と何をするのかを話し合い、縁日、コンサート等、たくさんの意見をいただきました。そして、イメージを少しずつ形にしていき、利用者と職員が一丸となって本番に向けて準備を進めました。

1日目はオリジナルボッチャ(名称:書写対抗コロコロゲーム~右曲がる~)を行いました。

姫路市内の馴染みのある店や場所の写真を貼った大きな台の上にボールを転がし、点数を競うゲームです。みなさん、高得点を狙って、台の上を転がるボールの行方をドキドキしながら楽しまれていました。

2日目は、Tatsuya さんを招いてコンサートを行いました。昨年も来ていただき、「また Tatsuya さんの歌を聴きたい!」という希望が多く出ていました。デイルームに響き渡る綺麗で力強い歌声に、皆さん聴き入っていました。





3日目は、縁日プログラムとして、ヨーヨー釣り、千本引き、オリジナルボッチャを行いました。千本引きでは、ジュースを景品とし、「どのジュースだろう??」とわくわくしながら、紐を引いていました。

そして、3日間を通して、「野菜、果物」をテーマに、八百屋体験 と畑の収穫体験ができるブース「フルーツベジタブルパーク」を開園 しました。開園に向けて、様々な材料を使って野菜や果物、衣装や小 道具を作りました。色、形、大きさなど、どうしたら本物のように感

じるのか、たくさんの工夫を取り入れました。皆さん好きな衣装を着て、農家や八百屋になりき り、笑顔で写真撮影をしていました。

給食では、モダン焼き、たこ焼き、フライドポテト、チョコバナナ、 アイスクリームなど、お祭り屋台の気分を感じながら、おいしく食べ ることができました。

今回のウィーク期間中には利用者の皆さんの楽しそうな笑顔をたく さん見ることができました。今後の活動でも楽しく大笑いできるよう な企画をたくさん考えて、取り組んでいきたいと思います。



「nstagram しています 喫茶 Café ぴあの・ぴぁ~の



「国内月間アクティブアカウント数 3,300 万を誇り、ストーリーズ、ライブ配信、リール、ショッピング機能、IGTV など、SNS の新たな楽しみ方を提供してユーザーを魅了しているアプリと言えば……?」さあ、みなさんお分かりになるでしょうか。これは、インスタグラム(Instagram)の説明文ですが、頭がクエスチョンマークで一杯になった方もおられるのではないでしょうか。

障害者支援センターでは、地域の方や授産品の顧客に向けた情報発信を充実させようと、平成29年度からインスタグラムを通してランチやイベント等の情報発信を行ってきました。まだ十分には活用できていない状況ではありますが、特に姫路獨協大学内にあるcafé ぴあの・ぴあ~の(以下、ぴあの)での取り組みをこの紙面を通じて報告させていただきたいと思います。



ぴあのランチ

ぴあのでは、ランチや限定メニュー、リニューアル商品の宣伝をインスタグラムで行っています。目を惹くような写真の撮り方やコメントなど、支援者同士で試行錯誤しながら少しずつ取り組んできましたが、現在では毎日お昼前に日替わりぴあのランチを紹介したり、一週間のメニューを投稿できるようになりました。6月には、姫路獨協大学の地域連携課のご協力により、大学が受け入れたトライやるウィークの中学生に、大学の広報活動の一環でぴあのの

商品を撮影した写真に画像加工を施してポップ作成するという企画が実現しました。現在販売中の夏季限定デザート『コーヒーゼリーサンデー』を見事に"映える"写真にしていただき、若者の視点でうまく商品の告知ができたと思います。その様子もぴあののインスタグラムに載せていますので、ぜひチェックしてみてください。

インスタグラムは、購買にも大きな影響を与えるプラットフォームとしても注目され、多くの企業がマーケティングに活用しています。特に、画像や動画を通じて、商品や活動を直感的に伝えやすい点が大きな特徴だと思います。私たちの喫茶の取り組みでも、店舗に足を運んでいただくお客様だけでなく、より多くの方に取り組みを知っていただく可能性が広がっていると感じています。これまでは積極的にはお知らせしてきていないため、アカウントの存在自体ご存じではない方が多いと思います。この機会によろしければフォローしていただき、応援コメントをお寄せいただければと思います。



ぴあぴあパフェ



イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンで 寄附をいただきました



「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、 毎月 11 日に開催される「イオン・デー」に、地域 のボランティア団体等に対して、イオンがその活動 に役立つよう物品をもって助成することを目的とし ています。

イオン・デーにイオン各店及びイオン専門店街の レシートを、店舗に設置されたボックスに投函し、 レシートの合計金額の 1%が登録団体に寄付されま す。

書写デイは平成 22 年から、広畑デイは平成 26 年から「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」へ応募しています。現在、書写デイはイオンモール姫路リバーシティー店へ、広畑デイはマックスバリュ熊見店へ登録させていただいています。

今年度は、利用者がリラックスして過ごすための 長座布団、入浴後に使用するドライヤー、介護用品、 非常用備蓄品など、さまざまなお品をいただきまし た。

「今日はイオン・デーだから、広畑(書写)デイのボックスにレシート入れとくねー!」と言ってくださる方もおられ、キャンペーンにご賛同いただき、とても嬉しいです。

利用者・ご家族・地域の皆さまのお心遣いに感謝 申し上げます。利用者の皆さんに楽しい時間を過ご していただけるよう、これからも切磋琢磨していき ます。



投函ボックス



すてきな長座布団をいただきました



ルネス花北成人部事業所一覧

	センター(多機能型) 姫路市保城 309 番地 1 TEL 079-282-2384 FAX 079-224-6751
就労移行支援	就職訓練班
自立訓練	自立訓練班
就労継続支援B型	喫茶班「café ぴあのぴぁ~の」「café あっと・ゆ~る」「ふれあい」 製菓班「クッキー工房 樫の詩」・洗車班・作業第一班
生活介護	軽作業班・個別作業班・活動班

姫路市立 かしのきの里 (多機能型) 〒671-2246 姫路市打越1352番地6 TEL 079-267-0202 FAX 079-267-0445							
就労移行支援 就労定着支援	就労移行班						
就労継続支援B型	クリーン作業・陶芸班						

生活介護	姫路市立 〒671-2203	書写障害者デイサービスセンター 姫路市書写台二丁目 7番地 1	
		TEL 079-267-2636 FAX 079-267-279-	4

生活介護	姫路市立 〒671-1116	広畑障害者デイサービスセンター
		TEL 079-239-1888 FAX 079-239-1898

	姫路市立	在宅障害者デイ・	サ	ービスルー	ム	
地域活動支援センターⅡ型	〒670-0804	姫路市保城 309 番地 1				
			TEL	079-282-2384	FAX	079-224-6751

	姫路市立	障害者やすらぎルー	ム		
障害児・者一時保護施設	〒670-0806	姫路市増位新町二丁目 37 番地			
		TEL	090-2598-9237	FAX	079-224-3173

	姫路市立	障害者体育館		
体育施設	〒670-0806	姫路市増位新町二丁目 37 番地		
		TEL 079-288-7122	FAX	079-224-3173

	あぼしリサイクル事業所
就労継続支援A型	〒671-1236 姫路市網干区網干浜4番地1 エコパークあぼし内
	TEL 079-273-8889 FAX 079-273-8870

	ぱっそ・	あ・ぱっそ	
相談支援事業所	〒670-0955	姫路市安田三丁目1番地 姫路市総合福祉会館	2 階
		TEL 079-240-6702	FAX 079-240-6705

ゆうあいだより No.182 令和5年(2023年)8月21日発行 発 行 姫路市総合福祉通園センター成人部 編 集 「ゆうあいだより」編集係